



もりがく県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

現地集合の「着地型」観光を提言

2月県議会一般質問に登壇



2月議会の本会議場に登壇した森岳県議

しかし「発地型」は、出発地が自宅から遠い

森議員 今、日本は空前のインバウンドブームですが、

一方、日本人による国内旅行を考えると、人口減少や少子・高齢化の進展で、国内マーケットは縮小していく

国内旅行は縮小

木更津市選出の森岳(もりがく)県議は、新年度予算案を審議する2月定例県議会の一般質問に登壇し、アクアライン効果を活用した「着地型」の新たな観光振興策を森田知事へ提言しました。また、若い農業者の育成を視野に、木更津地域のブルーベリー栽培や老木化している梨園の改植と早期の成園化への取り組み、そして医療的ケアの必要な障害児・者への支援策及び特別支援学校への通学問題など、観光・農業・水産・福祉など幅広く質問し、森田知事ら県執行部の考え方をたずねました。森県議の主な質疑を特集しました。

県内発着地のバスツアー 助成事業で観光客誘導へ

ものと思われま

そうした中で、本県の国内客を増やしていくには、一人当たりの本県の来訪回数を増やしていくことが必要であり、それには、国内旅行に対するさまざまな

ニーズに的確に対応していく必要があります。

例えば、ほとんどのバス旅行は、東京などの都市部に位置する旅行会社や、会社周辺の出発地から目的地へ観光客を送り込む、いわゆる「発地型」が主流です。

人などのニーズには対応できません。そこで、目的地までは各々の手段で集合し、その後、周辺の観光地を巡り、現地解散する、いわゆる「着地型」観光への取り組みが、今各地で進んでおり、県も今年度、県内を発着とするバスツアーの助成事業を立ち上げたとしています。そこで伺います。県内発着バスツアー優待プロモーション事業の実施状況はどうか。また、今後、どうしていくのか。

森田知事 電車や高速バ

地域の魅力をPR

森議員 東京湾アクアラインを利用して、本県を訪れた方々を周辺の観光地に誘導すべきと思うがどうか。

森田知事 東京湾アクアラインやその着岸地には、集客力のある施設があり、これら施設への来訪客を、さらに周辺の観光地へ導くことは、県の観光客を増加させる上で非常に重要だと認識しています。

スなどの交通機関を利用し、県内に来訪した観光客にとって、駅やホテルから観光施設へのアクセスが課題になっていることから、今年度、各地域の交通拠点を発着地とするバスツアーの助成事業を実施することとしました。

具体的には、県内各地において、海産物や果物などの旬の味覚や南極観測船見学、ローカル鉄道乗車等の特色あるバスツアーが造成され、現在までに20本以上運行されています。

今後も引き続き、観光施設までの移動がスムーズで魅力的なバスツアーの支援に努めるとともに、来年度は秋のコースを充実させ、観光キャンペーンと連動したPRを積極的に行うことで、誘客を図ってまいります。

そこで、県では海ほたる及び三井アウトレットパーク木更津内に観光案内所を設置し、観光施設や周遊バスツアー等の情報を提供するとともに、地域においても、木更津市周辺及び館山市、山武市のいちご園とアウトレットパークが連携して、特典付きのスタンプラリーを実施するなど、県内各地の観光地へ誘導する取り組みを

アクアライン効果で観光振興

今後とも、アクアラインの利用客が多く観光地を周遊していただけるよう、周辺市町村や観光事業者と連携し、地域の魅力を積極的にPRしてまいります。

要望 引き続き、県内設へ広域的に誘導する取り組みをしっかりと行ってもらうとともに、この動きが県内各地に広がるよう要望します。

●木更津市と県政についてのご意見をお寄せください

森岳 県議事務所
 〒292-0805 千葉県木更津市大和2丁目6番8号103
 TEL 0438-38-5050 FAX 0438-38-5051
 URL www.mori-gaku.jp/ E-mail info@mori-gaku.jp/

若い農業後継者のために!



自席から再質問し、要望する森岳県議

ブルーベリー栽培

森議員 本県の果樹とい

えば、日本の梨や特産のビワが有名ですが、ブルーベリーも本県では生産が盛んで、平成26年の収穫量は全国第5位となっています。

木更津市では、昭和60年代に全国に先駆けて産地が形成され、京浜市場に全国でも早期に出荷される産地として高い評価を得ています。最近では、ブルーベリー栽培で里山を再生し、地域の活性化に取り組むプロジェクトも進んでいます。そこで、県はブルーベリーの振興にどのように取り組

んでいるのか伺います。

農林水産部長 本県のブルーベリーは、関東地方では収穫時期が早く、また、消費地に近いことから、市場出荷のほか、観光摘み取りや直売が盛んで、近年は新規に取り

樹齢30年超が4割

森議員 老木化した梨園

の改植の状況はどうか。農林水産部長 本県の梨は、樹齢30年を超える園が全体の約4割を占め、生産力の低下が懸念されていることから、産地の維持や担

手の経営安定を図るため、若木への更新を計画的に進めていくことが重要だと認識しています。

このため県では、平成28年度に策定した千葉果樹農業振興計画において、平

組む生産者も多いなど、地域振興を図る上でも有効な品目であると認識しています。県では、これまでブルーベリー栽培に必要な防虫・防鳥設備等に対する助成や、摘み取り園等での収穫期間が長く保てるよう、約40品種の中から、本県の土壌や気候に適する優良品種を選定し、生産者へ情報提供するなど、生産振興を図ってきました。

また、高付加価値化を図るための加工品開発の支援や、国内外の観光客を誘致するため、ブルーベリー狩りの情報発信や接客についての研修会の開催などに取り組んでいるところです。

また、高付加価値化を図るための加工品開発の支援や、国内外の観光客を誘致するため、ブルーベリー狩りの情報発信や接客についての研修会の開催などに取り組んでいるところです。

障害児・者の医療ケア

森議員 医療的ケアが必

要な障害児・者等の在宅での生活を支援する人材の育成に、県はどのように取り組んでいるのか。

健康福祉部長 医療的ケアを必要とする人や重症心

身障害のある人が、地域で安心して生活するためには、医療、福祉に関する切れ目ない支援が必要ことから、障害特性や福祉の知識等を習得した看護師のほか、関係機関による支援の総合調整を行うことのできる人材の育成が重要だと考えてい

ます。このため、県では、平成23年度から訪問看護師等に対する研修を行うとともに、今年度からは、NICUから円滑に在宅生活に移行できるように、病院の看護師に対する研修を始めたところです。また、来年度から新たに、病院、福祉サービス事業所、学校等の関係機関の連携、支援の調整を図るコーディネーターを養成するため、相談支援専門員や、保健師等を対象に研修を実施することにしています。

視覚障害者の教育環境

森議員 視覚障害のある

子どもたちの教育環境はどのようになっているのか。また、県内全域を通学区域とする千

苗を利用して、梨の木を一列に連結するジョイント仕立てや、一文字状に仕立てる密植栽培技術を導入することが有効です。県では、必要な大苗を安定的に供給できるように、新たに30年度から産地等が行う大苗育成圃場の設置経費に対する助成や、大苗生産から輸送、定植までの一連の作業を請け負う事業者の育成に向けた実証事業などに取り組むことにしています。

海岸保全施設の整備

森議員 昨今の大型化す

る台風や急速に発達した低気圧の接近など、高潮や津波から生命や財産を守り、都市機能を維持するための海岸保全施設の役割は重要とされています。そこで、木更津港海岸木更津地区における海岸保全施設の整備状況と現在の取り組みはどうか。

県土整備部長 木更津港

海岸の海岸保全施設は、昭和40年代から整備され、木更津市中里地先から畑地地先へ延長約9.2キロ区間において、海岸や胸壁、水門などの施設が設置されています。

生徒は、視覚障害に特化し、社会的自立に向けた教育を受けています。千葉盲学校における通学状況は、幼児児童生徒81名のうち47名が、公共の交通機関やスクールバス、保護者の送迎により通学しており、残り34名が学校近くにある寄宿舎を利用しています。

東日本大震災を契機に改訂された、海岸保全基本計画に基づく防護高さを確保するため、これまでに貝測船溜まりを囲む胸壁約300メートルの嵩上げを実施したところであり、現在、老朽化対策として地蔵川排水機場の設備の更新を進めているところです。

今後、施設の防護高さを確保するとともに、平成30年度を目標に海岸保全施設の長寿命化計画を策定し、ライフサイクルコストの削減を図りつつ、適切な維持・修繕に努めてまいります。

ノリ養殖不作で要望

東京湾のノリ養

殖で要望します。木更津はもとより、本県にとってノリ養殖業は大変重要な漁業です。不作が続きますが、県においては、生産の安定化と漁業者の収益力向上に向け、ぜひ、今後とも関係者と力を合わせて、しっかりと生産体制の強化

や販促促進活動に取り組んでいただきたいと思います。現在、県の水産総合研究センター東京湾漁業研究所でノリの新品種開発が進められていますが、漁業者は心待ちにしていると思えますので、1日も早く実用化につなげられるよう、着実に開発を進めていただきたいと思います。

ブルーベリーの振興と老木化した梨園の改植